



池に咲くヒツジグサ (スイレン科)

(高鈴県立自然公園で撮影)

水の思い出

～ 1 ～

私は毎日東バイパスを通勤のため歩いています。「水と緑のプロムナード」として美しかった歩道を歩きながら、つい昔のことを思い出します。

私たちが小学生の頃、今からほんの数十年前ですが、この東バイパス沿いの中江川はきれいな水流でした。子どもの頃の風呂の水はこの川から毎日母が汲んでくれたものでしたし、もちろん夏には泳いだり魚つりをしたり…。

このたび、水路と周辺の歩道がとてもきれいに整備されましたが、清らかな水までは戻って来ていません。流れも美しくなったら、車で通りすぎるだけではもったいないと、プロムナードに集う人が増えることでしょう。きれいな水を取り戻すのは、昔の中江川を覚えている自分たちの役目なのかもしれないと、整備された小径を歩きながら思います。

(Y・S)

おおたのまちで さがしてみよう!!

おいしいね！
常陸太田のぶどう狩り



毎日ハードな日常に流されていると、日々新鮮な感動なんてありえない！なんて思える暑苦しい夏。そんな日々を吹き飛ばす「目からうろこ」の遊びをしてみませんか？

「遊び」と言ったら何を思い浮かべるでしょう。テレビゲーム？ゲームセンター？あるいは行楽地やプレイパークで過ごす1日？これらはもしかすると「遊び」ではなく「消費」かもしれません。わくわくドキドキする心、物事を丸ごと楽しんじゃおうと思う遊び心さえあれば、私たちの回りは楽しい不思議に満ちています。

まちの中、ふと気がつく面白いものに出会います。それはいつも見ているものだけどふとした角度から見ると「おもしろい」「不思議」「す、すごい」と不思議な感動があります。フォンス片手にこの夏の終わりにまちを遊びに出かけましょう。

市内のぶどう園が9月1日一斉オープン
今年も太田のぶどうが、たわわに実っております

◆お問い合わせ
JA常陸太田ぶどう部会事務局
TEL 0294 (72) 3375



テントウムシ／カブトムシ
どこに隠れているか、わかるかな？



ケヤキのうろ
トトロに会えるかも？



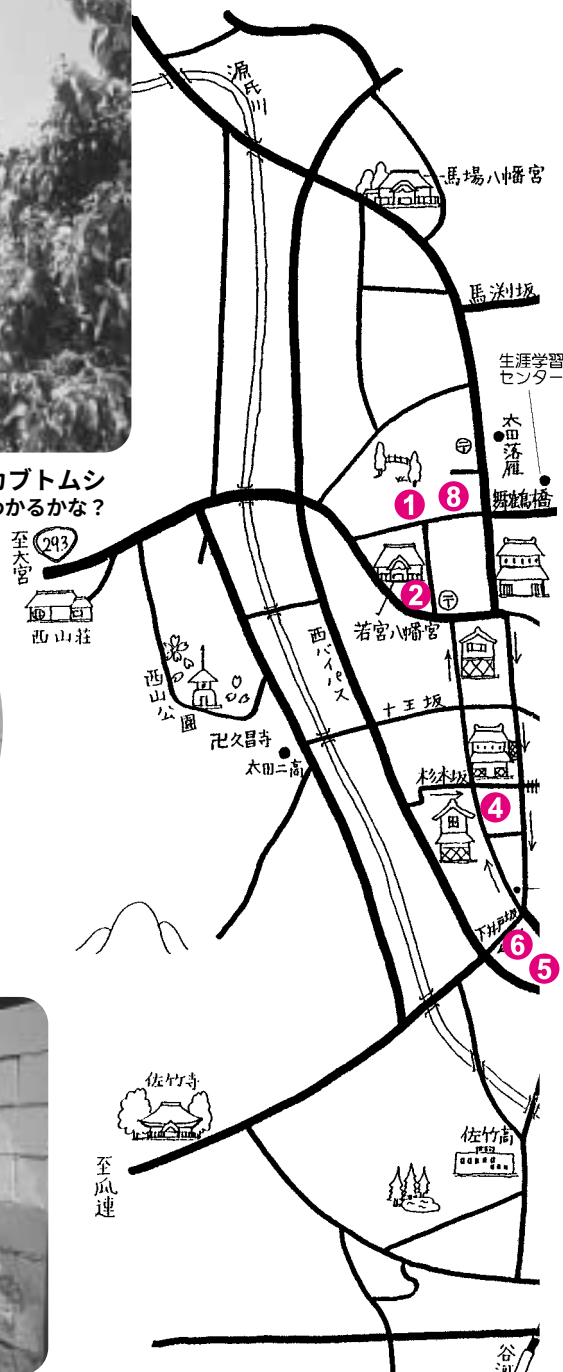
不思議なドア
誰が入るドア？



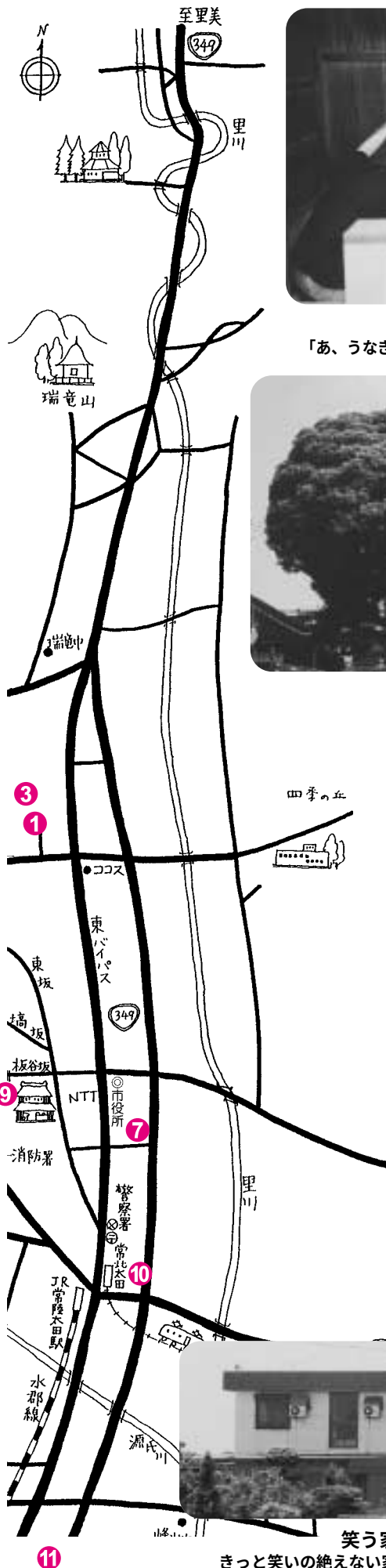
階 段
純粋に階段としてのみ存在する階段!?



ピンクパンサー
暑いね、隣からうな重とって！



(地図提供：まいづる塾)



下井戸のうなぎ
「あ、うなぎ!」「まずそう…」「罰当たりかな!」



猫の家
瞳のきれいな猫って言われます



ブロッコリーの木
この木なんの木、ブロッコリーの木



亀
緑の下の力持ちとしてがんばってます



シャボン玉ホリデー
「♪シャボン玉、るるる…」のガス灯にうりふたつ

美味しい梨を
食べて元気になろう!!



常陸太田の梨狩り・もぎとり時期

(8月中旬～10月上旬)

幸水、豊水、20世紀が主力ですが、最近は「筑水」「秀玉」と言った甘く桃の香りに似た香りを持つ新品種が作られています。ぜひ、味わってみて下さい。

◆お問い合わせ

J A 常陸太田なし部会事務局

TEL 0294 (72) 7171



笑う家
きっと笑いの絶えない家庭でしょうね

★まちの中の不思議なもの、気に入ったもの、こんなものに見えるもの等々、みんなも自分で発見しよう。できたらフォonz・ネットワークまで連絡してね!!

★国道349号沿い、那珂町のあるスーパーのネオンサインに注目。「カ○ミ」のミの字の1画目と3画目が消えています。夜通りかかると「カ○ー」に見えて、笑っていいものかどうか困っちゃう…。

★このページはぜひお子さん、お孫さんとご覧になってみてください。



心が たがいに うるおう世界 —— 読み聞かせ —— 石月 ひろ子 さん

今回は、ボランティアで読み聞かせの活動をしている、石月ひろ子さん取材しました。

うかがった先は、進徳幼稚園。「子どもたちを間近に感じていたいの、来させてもらってるんですよ。」と、石月さん。子どもたちは、機初地区に伝わる『孝行娘と弘法泉』の紙芝居に夢中です。石月さんは、地元で伝わるお話を『常陸太田そのむかし』としてまとめており、このお話もその中のひとつ。

園長の立川先生は「こういった活動は素晴らしいですね。本の好きな子どもが、ひとりでも多く育ててくれることを願っています。」と、お話ししてくださいました。

石月さんは、読み聞かせサークル綿ぼうしの会や、銀河ステーションでも活躍しており「たくさんの方々に支えられて今日までやってこられたんです。」と、ふり返りながら「読み聞かせは、子育て中のお母さん誰でもできる事、その橋渡しになれば…」と。自らは、東京へ出向き東京子ども図書館での『お話の講習会』で、学んでおり、そういった勉強の場へ積極的に参加しています。

読み聞かせの魅力についてうかがうと「子どもたちと、同じ時に同じ空間で同じ想いを分かち合いながら、頂点に達しストンと落ち着く、お話のおもしろさですね。」また、「これから社会へ巣立っていく子どもたちが、創造力豊かな心を持って生き生きと育っていったらいいですね。そんな手助けができたならうれしいです。」

紙芝居が終わると、「弘法泉の水がキラキラしてたよ！」と瞳を輝かせてかけ寄る子どもたちに、やさしくこたえる石月さんの姿が印象的でした。現在も、地元で伝わるお話を取材中だという石月さん、次号では『孝行娘と弘法泉』のお話をご紹介します。どうぞ、お楽しみに。(Y・G)

紙芝居が終わると、「弘法泉の水がキラキラしてたよ！」と瞳を輝かせてかけ寄る子どもたちに、やさしくこたえる石月さんの姿が印象的でした。現在も、地元で伝わるお話を取材中だという石月さん、次号では『孝行娘と弘法泉』のお話をご紹介します。どうぞ、お楽しみに。(Y・G)



いわば、「わがまちまるごと博物館」的発想に基づくものです。今後は、「まいづる塾」等関係団体や行政と連携して活動したいと思っています。

年々歳々、環境も変化し、種々な課題もでてきます。市天然記念物の「亀作の樵」や「島のエノキ」が倒れ、その痛ましい姿から教訓を得ました。豊かな自然は自然の恵みへの感謝と心の豊かさを原点として保たれます。

豊かな自然は 心の豊かさから

歴史に逢えるまち・広報『私たちのおた』に連載中の「ふるさと常陸太田」は七月号で八十二回を数え、そこには、わが心のふるさととしての想いが切々と述べられています。

教育委員会では「常陸太田の自然」(二巻)を源氏川と里川流域を中心に発刊し、多種多様な動植物の生態や地質、貴重な歴史遺産や民俗資料の数々を紹介しています。

昨年設立した地域家庭博物館は、広域行政圏を視野に、家庭や自然に眠る文化財や資料の発見と活用を意図したもので、

市文化財保護審議委員
川上 千尋

4Hクラブ

市民のアイドル「常陸太田4Hクラブ」を、ご存じでしょうか。4Hクラブは、若い農業担い手のクラブです。それじゃ3Kクラブだね、なんてご冗談は、いけません。確かに農業は、古い産業です。でも4HクラブのFrontier Spiritは、誰にも負けないつもりです。僕たちは、HeartとHeadを培い、HealthにHandを磨き上げ日々食と農の問題に全身で取り組んでいるのです。とくに力を入れているのが、常陸太田オリジナルぶどう・「青龍」プロジェクトです。常陸太田のぶどう生産者が育種開発し、常陸太田だけにしかないぶどう「青龍」を地域特産品として全国に広め、それとともに地域振興の一助をはかろうというものです。

このプロジェクトは、県の農業者クラブを代表し7月26日に開催された関東地区農業プロジェクト発表大会に出場いたしました。それにおいて、この活動は高く評価され優秀賞を頂き、さらに農業プロジェクト全国大会で常陸太田「青龍」をアピールするチャンスを得ることができました。

ところで4Hクラブがアイドル(自称)たる訳は、と申しますと太田まつりや常陸太田産業文化祭に積極的に参加させていただいているところにあると思います。太田と祭りが好きなんですね。これからもご声援お願いします。(K・E)



学び舎から 佐都小

ボランティア活動について

佐都小学校は、平成9～11年度、茨城県ボランティア活動普及事業協力校として活動してきました。児童は、自然な気持ちでボランティア活動への取り組みができるようになり、また、家庭でもボランティア活動が話題となるようになってきました。

そこで、本年度も、福祉教育の一環として、老人ホーム施設訪問やお年寄りの方々との交流、里山川原や通学路の清掃活動、点字や手話の親子学習会等の活動を計画し、児童会活動・学年活動・PTA活動で進めています。



これらのボランティア活動をとおして、敬老の方や地域の方々との交流を深めながら、児童の福祉の心が大きく育っていくことと思います。さらに、これからの福祉社会の一員として活躍できることを願っています。(F・N)

私の宝物◆すてられない物



二人の息子たちへのれんらく帳

幼稚園への入園を機にれんらくノートを作りました。話したいこと、伝えたいことなどを絵(イラスト)入りでずっと書き続けました。

それは、高校生まで続いて、表紙の題も〇〇の足あと、〇〇はばたけ、〇〇高く高くなどと、その学年によって変わっていきました。

今、改めて子育て奮闘記であったと、なつかしく思い出しました。

それぞれ、社会人、大学生となり、私にとって大切な宝物として、いつの日か二人の息子たちに渡したいと思っています。(綿引 美喜)

子育て 奮闘記

踊るママパラダイス②

不思議なもので、いくつになっても、子どもの寝顔は赤ちゃんの時のままです。自分にしてみればこの世で一番可愛い。…なのに、今日も私は、鬼の様に子どもを叱ってしまいました。ささいなことなのです。学校から帰って来て5分後に、片づいていた部屋がランドセルや帽子、お道具箱で足の踏み場がなくなっていました。もらって来た通知票は、この子にしては上出来とほめちぎったそのすぐ後「勉強ができたって、これじゃダメでしょうが!!」と怒鳴りちらしたあげく「ママ。」と言って寄って来た2歳のゆきのまで「今はダメ!!」と拒んでしまいました。そして私は、子どもたちの寝顔にザンゲするのです。考えてみると最近の私は、朝から晩まで怒っていてみけんに深くシワが刻まれています。もちろん、きちんとした理由で怒りもしますが、なんだかハツ当たりみたいな時もある…。もし私が、朝から晩まで夫に叱られながら家事をしていたら、そのうちブチキレて、皿の一枚でも投げてやることでしょう。育児書に「ほめて育てる。」と書いてあるのは、そういうことなんでしょうね。

産んだ時、男が女かと尋ねるより先に「元気ですか?」と口にした私と、今の私は同じ人間なのがしら…と、子どもの寝顔にチューをして手で振り払われている私です。

P.N. 織田裕子 常陸太田子どもの劇場

朝、今日は怒らない——と心に誓う



やってみよう

手づくり楽器教室

自分の手で楽器を作って音楽にしたら素敵だと思いませんか！

誰にでもできるやさしい楽器づくり教室を開きますのでご参加ください。

と き：9月13日（水）

午前9時30分～午前11時30分

ところ：生涯学習センター講座室

参加料：500円＋材料代

指導：黒沢日出男

素材：ある程度は用意しますが、材料を見つめることから始めます。



工具：ノコギリ、切り出しナイフなどを使用します。

申込先：常陸太田市栄町101

TEL 0294 (73) 1238 黒沢日出男さん

申込期日：9月10日（日）まで

募集人数：先着40名まで

第2回親子工作教室

モノをつくるよろこび親子でいっしょにLet's Try！

◎土器をつくろう

幡山の粘土で土器や埴輪をつくり、秋には野焼きで土器を焼きます。

◎実施日と場所

土器づくり 9月23日（土） 9：00～12：00

春友手づくり工芸センター

野焼き 11月23日（祝） 8：00～16：00

里川河川敷

◎対象 常陸太田市内に住む親子（子どもは小学生以上）

◎募集人数 20組（先着順）

◎参加費 無料

◎申込方法 郵便はがきに、親子の氏名、年齢（学年）、〒住所、電話番号を記入のうえ、9月10日～16日までに申込みください。

◎応募先及びお問合せ先

常陸太田市中城町3280番地

TEL 0294 (72) 8888 生涯学習センター



ニュースポーツ広場

グラウンドゴルフ・ペタンク・ターゲットバードゴルフ等々楽しんでみませんか。

と き：10月8日（日）午前10時～正午

ところ：山吹運動公園運動広場

お一人でもグループでも、子どもでもOK、初心者には体育指導員が遊び方を教えます。

親子でどうぞお出かけください。



【問合せ】
山吹運動公園体育館内
スポーツ振興課
TEL 0294 (72) 1230

※当日「第21回常陸太田市陸上競技大会」も開催されています。あわせてご参加ください。

太田の自然・歴史を歩こう 第6回市民ウォークラリー大会

と き：11月5日（日） スタート午前9時予定

ところ：山吹運動公園周辺コース

参加料：お一人300円（保険料その他）

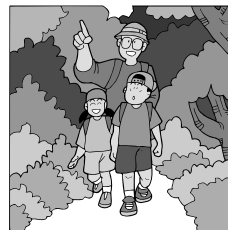
ご家族・お仲間でご参加ください。

○歴史を歩く

5キロコース

○自然となかよし

5キロコース



◎参加申込については下記へお問合せください

常陸太田市栄町216-4 TEL 0294 (72) 1884

常陸太田市レクリエーション協会

大森 真一さん

創刊号はいかがでしたでしょうか？多くの方々からいろいろな声をいただきました。

○表紙を飾った「大森町鹿島神社不動尊の泉」は、ぜひ行ってみたいと多くの声がありました。しかし、その中に「この写真は違うのでは」というご意見があり、再調査をしたところ、創刊号表紙の写真は「真弓町弁天の泉」で、「不動尊の泉」は鹿島神社の南側にある泉でした。申し訳ありませんでした。

○ホテル分布図は大好評で、詳しい場所の問合せが多かったです。みなさんも行ってみたいですか。

○レポーターを募集したところ、新たなレポーターが誕生いたしました。さっそく本号にその方の記事が掲載されています。さて、どの記事でしょう。

◆これからも、どしどしご意見をお寄せください。常陸太田市フォonz・ネットワーク デスク・三次 茂

いってみよう!! 全長310メートル巨大壁画を描く 「イメージのアイヌ・ユーカラ」(第3部) 「齋藤義孝展」



東洋の神秘主義の源泉を先住民アイヌの自然崇拜主義文化にたずね、北辺の大地の精神文化を時空を越えた現代人と未来のメッセージを伝えようと、常陸太田市三才町在住の芸術家・齋藤義孝さんの展覧会「全長310メートルを描く齋藤義孝展『北辺の大地』100メートルを展示」(主催・ノン、ブラック アソシエイトフォーラム実行委員会)が9月20日から30日まで、北茨城市大津町の県天心記念五浦美術館で開催される。

1992年、つくば市吾妻の県つくば美術館で巨大壁画「イメージのアイヌ、ユーカラ」第1部(神々の世界)を発表し、95年にも「イメージのアイヌ、ユーカラ」第2部(北辺の大地)を県つくば美術館で開催している。

出品されるのは、全長100メートル巨大壁画の中の一作品として色々な表情をした複数のアイヌとカラフルな衣装、回遊する巨大な鮭など=写真=を大胆に描いている。

齋藤さんは第三部について「シルクロードの終点は、現中国・北京市が定説になっている。現ロシア・ウラジオストクを経由して江戸時代の日本に来ていることを証明したい」と話している。(H・K)

★問い合わせは、日立市桜川町1-8-10、☎0294(34)2425、河野信昭さん、大石展子さんへ。

映画を
観にこう

ウィークエンドシネマランド

350インチ大画面ハイビジョン
映画館にみんな集まれ

ところ：生涯学習センターふれあいホール 入場無料(入場券が必要です)

9/16
(土) 14:00~

観覧申込受付
8/29
(火)より

ハイビジョンシリーズ
「北海道」

9/23
(土) 14:00~

観覧申込受付
8/29
(火)より

リバイバルシリーズ
「三国志」(アニメ)

10/18
(土) 14:00~

観覧申込受付
9/23
(土)より

リバイバルシリーズ
「マイ・フレンドフォーエバー」

○観覧ご希望の方は、生涯学習センターへ直接来館してお申し込み下さい。先着順で入場券をお渡しいたします。

【お問い合わせ・申し込み】常陸太田市生涯学習センター TEL 0294(72)8888(月曜日休館)

「あそび」と「まなび」

～釣り大会を取材して～



近頃屋外で遊んでいる子どもを見かける機会が、めっきり少なくなってしまった。

私達大人のイメージする子どもの遊びと現実は大きくかけはなれ、一人でテレビゲームをしたり、特定少数の友達と家の中で遊ぶことが、現代社会における主流となってしまった。無造作に並んだ数台のマウンテンバイクの奥の家から、お世辞にも美しい日本語と呼べそうにない言葉や感動詞がきこえてくる場面に、時々遭遇する。これで良いのか？子どもたちの将来を、そして取り越し苦労かも知れないが日本の将来を危うくしてしまう。

さて、5月28日、恒例の釣り大会が久慈川隣接地の通称「栗原の溜」で開催された。早朝のうちは昨夜からの雨が残ったものの、天候は次第に回復し、まずまずの日和だった。取材に向いてみて驚いたのは、親子での参加者が少ないことだった。

親子らしき2人連のかたわらで、会話をソッと聴いてみた。「ダメだよ！釣り竿を上げるのが早過ぎたんだよ！まだエサを食ってないよ！」と子ども

の声。「お前のエサの付け方が悪いんだよ！」とお父さんの声。大げさかも知れないが、お互いの意見を主張しながら、親子のふれあいを実践しているんだと、勝手な解釈をしてしまう。

自然に触れ、親子共通の目的意識の中で会話を重ねることにより、「あそび」ことが「まなび」ことになり、子どもが成長していく過程の大切な栄養となっていくのではないかと考えている昨今。

お父さん！近頃本気になって子どもと遊んでいますか？

(M・S)

リレー
エッセイ

「思い出の絵本」 ～ 2 ～

(栄町 福田 花子さん)

小学校6年生の時、担任の先生が読んでくれた本が、「龍の子太郎」でした。ひもじさ故にイワナを食べて龍になったお母さんと太郎が力を合わせて、貧しかった村人のために山を開き、水を引いて豊かな土地に変えていく話です。心地よい感動を受けた初めての本でした。

昭和30年代に小学生だった私は、それまで教科書以外の本を読んだことがありませんでした。その後、図書室の本を片っ端から読み読書の楽しみを知りました。

多感な少女時代に本と出会い、私の人生に大きく影響を与えてくれた一冊の本が「龍の子太郎」です。

(次回は、黒羽富子さん)



ほつ
とひといき

ウラボニホテイシメジ (イッポンシメジ科)



落葉広葉樹林内の地上に9月下旬～10月初旬の雨後発生する。傘の径7～15cm位。淡褐色で表面に白色絹糸状の繊維が覆う。はじめはまんじゅう形、のち開いて中高扁平の市女笠(いちめがさ)状となる。

普通、1本で発生することが多いのでイッポンシメジの別名がある。同名の毒きのこもあるので注意。

市内のアカマツの混じったコナラ林やシノやぶ内で多く収穫され、食用となる。(古平 均)



ちよっとひといき

ぶどう大福

シイナ葡萄園

TEL 0294 (72) 0942

常陸太田市といえばぶどう。ぶどうのシーズンを前にちよっとめずらしいお菓子をご紹介します。「ぶどう大福」長尾のシイナ葡萄園で9月中のみ販売している超限定商品です。

果物と大福の組み合わせとしてはいちご大福が有名ですが、同じように皮ごと食べられる「カッタクルガン」という品種のぶどうが丸ごと1粒入っています。パクリとほおぼると、甘さ控えめのあんこの中からジューシーなぶどうの甘味が広がります。ミスマッチな味?いいえ、21世紀の恋の味かも…。ぶどうのでき具合で、作れる大福の量も変わるためどうしても食べてみたい時はご連絡の上お出かけくださるといいでしょう。(K・S)

子どもたちの「食べる」を担う

常陸太田市・金砂郷町

学校給食共同調理場



学校に行っている一番の楽しみ、それは給食の時間です。育ち盛りの子どもの体をつくるうえで重要な役割を担っている給食。内堀町にあった共同調理場の老朽化に伴い、安全でおいしい給食を提供できるよう、菅田幼稚園北側に新しい調理場が建設されました。夏休み中を利用して、移動体制を整えた調理場を、市PTA連合会の役員が視察してまいりました。

ワンルーム式消毒室で完全殺菌、調理行程ごとに区分することによって二次汚染を防止する配慮や、場内の床を乾燥した状態に保つ完全ドライシステムの採用など殺菌の発生や増殖を防ぐ事への細かい心配りが要所所に感じられました。

子どもたちがすぐにムカツク、キレルといったようにならないためにも、身体そのものが調和し、安定したものとして育っていけるよう、栄養のバランスには気をつけたいものです。「今日の給食、おいしいね。」の声がもうすぐきこえます。(K・S)